11-2

「日本の近世城郭群」という構想

松本城天守単独では世界遺産登録一覧表掲載候補にはなり得ないと考えた松本市は国宝四 城を「近世城郭群」としてまとめ、姫路城の拡大遺産として登録する方向が可能かいなか の研究をまず、松本城・彦根城・犬山城、3城で始めました。今回は4城の遺産を統合する ことで世界遺産**「姫路城」を越える普遍的な価値**が見いだせるかを巡って、問題を解きな がらお考えください。

1 姫路城と彦根城は関ヶ原の戦い以後1600年~161 5年の間に築造された我国の天守建築最盛期の「慶長後 期」に属する天守です。したがって類似点は多くみられま すが「彦根城」にあって世界遺産「姫路城」にはないもの もあります。該当する番号に○を2つ付けなさい。



- ①彦根城には大名庭園や付属する建築物が残されているが姫路城に残されていない。
- ②彦根城には本丸御殿が残されているが姫路城には残されていない。
- ③彦根城の堀はすべて埋められずに江戸時代のまま残されたが、姫路城の堀の一部は都 市の発展に伴い埋められて宅地化したり道路になっている。
- ④空襲を免れた彦根市は城下町や旧藩の施設が比較的よく保存されているが、姫路の城 下町は空襲により江戸時代の建築物遺構は大部分が焼失している。
- 2 犬山城は通説では四階の天守のうち一・二階が天文4年(1535)年に造られ、慶長 5 年(1600)頃三・四階部分が築かれたとされ、日本最古の天守と言われてきました。 昭和40年解体修理完了後の「修理工事報告書」によれば、天文初年(1532~1
 - 5 4 0 ころ) に一・二階が建設され慶長 5 年 (1600) に三四 階が増築されたとあります。しかし、現在では一・二階の建 設も新しく慶長6年(1601)に築造されたとする説も有力で す。増築を重ねた犬山城は日本城郭発達史の中でどのような 意味を持つのでしょうか、どちらかに○をつけなさい。



- ①一・二階の大人母屋を掛けた部分がまず建設され、その上に小さな望楼を乗せ形であ り天守が生まれてくる天守建築の発展過程を考える上で重要な遺構である。
- ②戦国時代末期は城の建設ラッシュで建築材が不足しがちで、まず一・二階部分を作り 砦として敵に備え、泰平の世になった江戸時代に望楼部分を加えて権威の象徴として の天守の体裁を整えた。戦国時代と泰平の世の天守の持つ意味の変化を知る上で重要 な遺構である。

3 松本城は平城ですが、他の国宝3城は平山城です。しかし、その「縄張り」は地形の微妙な差によって「姫路城」と「犬山城・彦根城」とでは異なっています。次の(の中に「縄張り」の名称を番号で入れなさい。

○姫路城(

○犬山城と彦根城(

かかくしき ④温郭式

①連郭式



②梯郭式



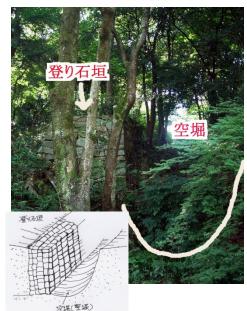
本一二の丸丸丸丸

③輪郭式



- 4 彦根城は慶長11年(1606)に天守が完成します。松本城より後に天守が造られましたが、中世山城の防備に用いられた施設が継承され、近世城郭である彦根城山腹に存在しています。それは空堀の一方の斜面に垂直に近い「登り石垣」が造られている施設です。なんのために造られたのでしょう。
 - ①この石垣の上に塀を建て空堀(竪堀)を移動する敵を攻撃した。

 - ③空堀(竪堀)を移動する敵を一気に殲滅する ため数個の石を外すと一斉に石垣が崩れるよ うに設計されていた。



- 5 次の文は国宝4城のある城の特徴を説明していますが、城名を()に入れなさい。
 - (1) 重臣の屋敷や長屋門が残されており、されに、国内唯一の厩(うまや)の遺構が保存されている。()
 - (2) 初期天守の特徴である城主の居住部分を天守一階に備えている。(①松本城 ②彦根城 ③犬山城 ④姫路城
- 6 姫路城は界遺産登録基準の(1)と(4)で登録されている。国宝3城が加わり「日本 の近世城郭群」として申請すれば、世界遺産登録基準1と4に加えて後2つの基準が付 加されると考えられます。1と4を除き付加される価値の番号に○を2つ付けなさい。
- (1)人類の創造的才能を表現する傑作。
- (2) ある期間を通じて建築、技術、景観デザイン等の発展に人類の価値の重要な交流を示すもの。
- (3) 現存する又は消滅した文化的伝統又は文明の少なくともまれな証拠となりうるもの。
- (4) 歴史上の重要な時代を例証する建築様式・建築物群・技術の集積・景観の顕著な例。
- (5) 損傷されやすい文化を代表する伝統的集落または土地利用の顕著な例。
- (6) 顕著な価値を有する出来事・伝統・思想・信仰・芸術や文学作品と関連するもの。